

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 570301	シルバー人材センター補助事業				主管課名	高齢福祉課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 幸広				
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち									
		基本事業	社団法人シルバー人材センターへの支援									
	(1)事業の概要											
	シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							シルバー人材センター数		か所			
							その指標					
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓、広報活動の強化、会員の研修と福利事業、安全就業の推進など、及びその他、高齢者の生きがい事業を補助事業として、補助金を交付する。												
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
シルバー人材センターの会員						名 称		単 位				
						シルバー人材センター会員数		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
シルバー人材センターの運営が適正になされる						名 称		単 位				
						シルバー人材センター受注事業所件数		件				
						会員の就業率		%				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
生きがいのある充実した生活を送ってもらう						名 称		単 位				
						シルバー人材センター会員の延就業人数		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		か所	1	1	1	1	1	1				
(6)の対象指標		人	376	323	360	367	375	385				
(7)の成果指標		件	1,991	1,928	1,986	2,030	2,080	2,130				
		%	95	95	95	95	95	95				
(8)の結果の成果指標		人	46,342	47,270	48,215	49,100	50,100	55,000				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	52,220	44,220	46,473	41,280	41,280	41,280				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	10,012	10,012	10,012				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	52,220	44,220	46,473	31,268	31,268	31,268				
人件費B		千円	591	677	677	677	677	677				
正職員従事時間×人数		時間×人	40×4	45×4	45×4	45×4	45×4	45×4				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	52,811	44,897	47,150	41,957	41,957	41,957				
単位あたりコスト		千円/人	140	139	131	114	112	109				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	570301シルバー人材センター補助事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和63年 から			近年の不況等により、会員の拡大及び就業機会の開拓が難しい状況にある。		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？					
シルバー人材センターの発足						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない		変化している		変化した内容		経済状況が不安定

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		自治事務	→	根拠法令	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
		結びつかない	→		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
		できない	→		
		拡大	→		
		縮小	→		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
		できない	→		
	追加	→			
	拡充	→			
	絞込み	→			
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
	多少影響がある	→			
	影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容		
	できない	→		適正な法人運営がされているため。	
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？	ある	→	類似事業名		
	ない	→	類似事業との再編の可能性		
また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	内容		
	ない	→			
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
	ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
	ない	→			
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
	ない	→			
	現状で適正	→			
	検討が必要	→			
	受益者がいない	→			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	今後も継続して補助していく。					